

## 2019 年度事業報告

### 【新型コロナウイルスの感染拡大防止の対応について】

チャイルドラインほっかいどうでは、新型コロナウイルスの感染拡大に際して、2020年2月28日から3月31日と、4月20日から5月13日の2段階にわたって、電話・チャットなどの業務を休止し、インターン・継続研修などは8月まで休止としました。

4月初旬に活動を再開した際には、業務を行うスタッフの手洗い励行やマスク着用など、部屋の人数制限、換気や消毒など衛生管理を徹底し、運営委員会を遠隔会議で行うなど感染防止措置を実施しましたが、北海道や札幌市による「緊急事態宣言」を受け、スタッフの安全面を重視して、業務の休止に踏み切らざるをえませんでした。

※18頁以降に、チャイルドライン支援センターの「新コロナ関連の電話・チャット件数」、「プレスリリース」を掲載しています。

### 【事業に関する報告】

#### I 子ども専用電話の開設事業

##### 1 電話受信状況（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

専用電話は、平日の毎週月曜と水曜に加え、第2日曜の午後4時から9時までの時間帯で、原則2回線を実施しました。チャイルドライン支援センターの「夏休み明けキャンペーン」では、8月26、28日、9月2、4日の4日間を午後2時から午後10時まで実施しました。

2019年度の開設日数は、延べ91日（前年度93日）で、総着信数6,286件（同7,905件）、会話成立は1,206件（同1,568件）です。1開設日当たりでは、着信数が69.1件（同85.0件）で、会話成立数は13.3件（同16.9件）となっております。

各月の受信状況、年齢層等については、以下の表のとおりです。

〔第1表 電話受信件数〕

	①総着信数	②総通話時間数	③会話成立	その他（①－③）
2019年4月	509	2,557.5	104	405
5月	712	2966	154	558
6月	626	2966	125	501
7月	681	2,908.5	140	541
8月	591	2,162.5	90	501
9月	647	2,765.5	111	536
10月	532	3,009	138	394
11月	473	2,635.5	124	349
12月	584	2564	86	498
2020年1月	377	1,589.5	58	319
2月	554	1473	76	478
3月	0	0	0	0
総計	6,286	27,597 (459時間57分)	1,206	5,080

注：2020年3月は新型コロナの流行のため休み

注：会話成立 1 件平均通話時間 22 分 53 秒

〔第 2 表 年齢層〕 \*発語有で会話不成立はふくまれません

年齢	男の子	女の子	不明	合計
未就学	1	1	0	2
小学生（低学年）	27	67	1	95
小学生（高学年）	41	97	0	138
中学生	90	128	0	218
中卒～18 歳	326	404	1	731
不明	13	7	2	22
合計	498	704	4	1,206
おとな				948
発語なし				4,132
総着信件数				6,286

〔第 3 表 電話の主訴（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18 歳	不明	合計
		低学年	高学年				
学校・フリースクール	2	45	75	89	199	4	414
部 活	0	3	1	10	17	1	32
性	0	0	3	15	81	3	102
家 庭	0	21	14	33	76	3	147
職 場	0	0	0	0	8	0	8
ネットトラブル	0	0	0	2	9	0	11
地 域	0	3	4	1	8	1	17
自 分	0	23	41	68	333	10	475
合計	2	95	138	218	731	22	1,206

〔表 4 表 関係性（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18 歳	不明	合計
		低学年	高学年				
友人・知人	1	42	53	62	128	2	288
恋 人	1	1	3	7	40	0	52
先輩・後輩	0	0	1	3	11	0	15
同 僚	0	1	1	3	8	0	13
実 父	0	2	0	14	18	0	34
実 母	0	11	8	17	46	4	86
養 父	0	0	1	0	3	0	4
養 母	0	0	1	0	2	0	3
きょうだい	0	2	4	5	16	1	28
義理のきょうだい	0	0	0	0	6	0	6
祖 父	0	0	0	0	1	0	1
祖 母	0	1	1	2	6	0	10
先 生	0	2	7	6	21	2	38

顧問・指導者	0	1	1	1	6	0	9
近所の人	0	0	1	0	2	0	3
施設職員	0	0	0	0	1	0	1
知らない人	0	0	0	3	8	1	12
自分自身のこと	0	31	52	93	402	12	590
その他	0	1	4	2	6	0	13
合計	2	95	138	218	731	22	1,206

〔第5表 かけ手の動機（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
話を聴いてほしい	2	70	97	160	593	14	936
答えが欲しい	0	20	31	47	94	1	193
誰かとつながっていたい	0	1	4	5	22	1	33
お試し	0	2	4	4	16	6	32
社会資源情報を求める	0	0			3	0	3
実際に動いて欲しい	0	1	1		1	0	3
チャイルドラインについて	0	0	1	1	1	0	3
その他	0	1	0	1	1	0	3
合計	2	95	138	218	731	22	1,206

〔表6表 気持ち（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
うれしい・たのしい	0	13	9	3	11	0	36
幸 せ	0	1	0	0	3	0	4
楽しみ・期待	0	1	1	1	7	0	10
満足・充実感	0	1	1	2	4	0	8
怒り・いらだち	0	5	9	3	34	0	51
憂 鬱	2	4	9	19	45	1	80
不 安	0	7	18	36	118	4	183
イヤだ	0	15	31	32	60	1	139
疲 れ	0	1	2	1	10	0	14
あきらめ	0	0	1	1	4	1	7
つらい・苦しい	0	10	9	30	92	0	141
悲しい	0	5	6	5	14	0	30
孤独・寂しさ	0	3	8	1	23	0	35
人目が気になる	0	0	0	3	8	0	11
自分に自信がない	0	0	3	4	18	3	28
恐怖・怖い	0	1	5	3	14	0	23
くやしい	0	1	1	1	11	2	16
困惑・困っている	0	20	13	39	122	3	197

葛藤・迷い・戸惑い	0	2	4	22	73	2	103
傷つきたくない	0	0	0	1	7	0	8
傷つけない	0	1	0	0	3	0	4
不明	0	3	1	4	27	4	39
その他	0	1	7	7	23	1	39
合計	2	95	138	218	731	22	1,206

〔第7表 かけ手の端末〕

端末	総着信数	会話成立
携帯・PHS	4,521	968
固定・公衆	1,763	237
不明	2	1
合計	6,286	1,206

## 2 電話開設従事者数

電話開設に伴う従事者については、1開設日につき2時間30分ごとの2シフトとし、1シフト当たり「受け手3人」「支え手1人」を基本に編成しました。また、事務局員についても開設日を活動日とし、電話室の管理等行ってきました。

2018年度のシフト配置状況については、以下のとおりです。

〔シフト配置状況〕

	開設日数	Aシフト		Bシフト	
		受け手	支え手	受け手	支え手
2018年4月	8	29	8	28	8
5月	8	28	8	26	8
6月	9	26	9	28	9
7月	10	27	10	25	10
8月	7	21	7	15	7
9月	8	22	8	22	8
10月	9	25	9	20	9
11月	8	25	8	20	8
12月	9	21	9	19	9
2019年1月	8	23	8	16	8
2月	7	27	7	17	7
3月	0	0	0	0	0
合計	91	274	91	236	91

※受け手にはインターンを含む

## 3 オンラインチャットの試行に関する取組み

2019年度通常総会での確認に基づき、受け手・支え手にオンラインチャット参加者の募集、事前研修と事後研修の開催、チャットトライアルの実施など取り組んできました。チャットトライアルの受信状況は以下の通りです。

〔第1表 チャット受信件数〕

開設日	総訪問数	対応件数	会話成立	未対応件数	対応率
9月20日(金)	10	6	5	4	60.0%

10月3日(木)	51	29	14	22	56.9%
10月24日(木)	69	23	15	46	33.3%
12月26日(木)	28	14	11	14	39.3%
1月30日(木)	51	30	18	21	25.3%
総計	209	102	63	107	30.1%

〔第2表 年齢層〕 ※会話成立件数より

年齢	男の子	女の子	不明	合計
未就学	0	0	0	0
小学生(低)	0	0	0	0
小学生(高)	3	14	0	17
中学生	2	18	1	21
中卒～18歳	2	22	0	24
不明	0	1	0	1
合計	7	55	1	63

〔第3表 チャットの主訴(会話成立のみ)〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
学校・フリースクール	0	0	14	10	9	1	34
部活	0	0	0	0	0	0	0
性	0	0	0	0	0	0	0
家庭	0	0	1	5	2	0	8
職場	0	0	0	0	1	0	1
ネットトラブル	0	0	0	1	0	0	1
地域	0	0	0	0	0	0	0
自分	0	0	2	5	12	0	19
合計	0	0	17	21	24	1	63

〔表4表 関係性(会話成立のみ)〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
友人・知人	0	0	7	8	8	0	23
恋人	0	0	0	0	1	0	1
先輩・後輩	0	0	0	0	0	0	0
同僚	0	0	0	0	1	0	1
実父	0	0	1	1	1	0	3
実母	0	0	0	0	2	0	2
養父	0	0	0	0	0	0	0
養母	0	0	0	0	0	0	0
きょうだい	0	0	1	4	0	0	5
義理のきょうだい	0	0	0	0	0	0	0
祖父	0	0	0	0	0	0	0

祖 母	0	0	0	0	0	0	0
先 生	0	0	3	0	0	0	3
顧問・指導者	0	0	0	0	0	0	0
近所の人	0	0	0	0	0	0	0
施設職員	0	0	0	0	0	0	0
知らない人	0	0	0	0	0	0	0
自分自身のこと	0	0	5	8	11	1	25
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	17	21	24	1	63

〔第5表 かけ手の動機（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
話を聴いてほしい	0	0	13	18	22	0	53
答えが欲しい	0	0	3	3	2	1	9
誰かとつながっていたい	0	0	0	0	0	0	0
お試し	0	0	1	0	0	0	1
社会資源情報を求める	0	0	0	0	0	0	0
実際に動いて欲しい	0	0	0	0	0	0	0
チャイルドラインについて	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	17	21	24	1	63

〔第6表 気持ち（会話成立のみ）〕

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
うれしい・たのしい	0	0	0	0	0	0	0
幸 せ	0	0	0	0	0	0	0
楽しみ・期待	0	0	0	0	0	0	0
満足・充実感	0	0	0	0	0	0	0
怒り・いらだち	0	0	0	2	3	0	5
憂 鬱	0	0	6	1	1	0	8
不 安	0	0	1	1	4	0	6
イヤだ	0	0	3	2	2	0	7
疲 れ	0	0	0	0	1	0	1
あきらめ	0	0	0	0	0	0	0
つらい・苦しい	0	0	0	9	4	0	13
悲しい	0	0	0	0	0	1	1
孤独・寂しさ	0	0	0	1	0	0	1
人目が気になる	0	0	0	0	1	0	1
自分に自信がない	0	0	0	0	1	0	1
恐怖・怖い	0	0	1	3	2	0	6

くやしい	0	0	1	0	0	0	1
困惑・困っている	0	0	0	0	3	0	3
葛藤・迷い・戸惑い	0	0	0	0	2	0	2
傷つきたくない	0	0	0	0	0	0	0
傷つけたくない	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	5	2	0	0	7
合計	0	0	17	21	24	1	63

〔第7表 かけ手の端末〕

端末	会話成立	割合
Chat/PC	12	19%
Chat/携帯	51	81%
合計	63	100%

〔シフト配置状況〕

実施日	Aシフト			Bシフト		
	受け手	支え手	PC稼働台数	受け手	支え手	PC稼働台数
9月20日	3	2	3			
10月3日	3	2	3	3	1	3
10月24日	3	2	3	2	1	2
12月26日	3	1	3	2	1	2
1月30日	3	1	3	4	1	3
合計	15	8	15	11	4	10

## II 研修事業

### 1 受け手 15期インターン研修（1月から実施・2018年度開催分を掲載）

期間： 2019年1月15日～6月25日

場所： 札幌市社会福祉総合センター等

受講生： 2名 受け手認定2名

7	2019年 4月9日(火)	講義「子どもの現状」 生きづらさを抱える子ども たち	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
8	4月23日(火)	ロールプレイ 3	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
9	5月14日(火)	ロールプレイ 4	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
10	5月28日(火)	講義「子どもの現状」 少年犯罪について	北海道警察本部少年課 少年サポートセンター
11	6月11日(火)	ロールプレイ 5	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
12	6月25日(火)	グループワーク	北星学園大学 栗山 隆

## 2 受け手 16期養成研修

募集期間：2019年4月1日～6月15日

研修期間：2019年7月9日～2019年12月3日

研修場所：札幌市社会福祉総合センター等

受講生：17人

回	日 時	テ ー マ	講 師
1	2019年 7月9日(火)	開講式・オリエンテーション チャイルドラインとは	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
2	7月23日(火)	講義 「子どもの人権について」	弁護士 増谷康博
3	8月6日(火)	グループワーク 1 「お互いを知り合おう」 「伝えること、伝えること」	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
4	8月20日(火)	グループワーク 2 「私とあなたと違うこと」	北翔大学人間福祉学部 新川貴紀
5	9月3日(火)	講義 「子どもの現状」 青年期について	札幌学院大学 村澤和多里
6	9月24日(火)	ロールプレイ 1 電話相談を体験する ～声と声だけでできること	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
7	10月8日(火)	ロールプレイ 2 共感的な対応とは ～「聞く」と「聴く」の違い	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
8	10月29日(火)	ロールプレイ 3 自分の特徴を知る ～「癖」を見つける	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
9	11月12日(火)	ロールプレイ 4 困難なケースへの対応を学ぶ①	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
10	11月19日(火)	ロールプレイ 5 困難なケースへの対応②	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
11	11月26日(火)	ロールプレイ 6 ロールプレイの振り返り	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
12	12月3日(火)	・電話をとるということ ・インターン研修の前に	チャイルドラインほっかいどう 常務理事 田辺毅彦

## 3 受け手 16期インターン研修



期 間：2020年1月14日～

場 所：札幌市社会福祉総合センター等

受講生：養成研修を修了レインターンとして認定された9人

回	月 日	内 容	講 師
1	2019年 1月14日(火)	オリエンテーション①	研 修 部
2	1月28日(火)	オリエンテーション②	研 修 部
3	2月4日(火)	ロールプレイ 1	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
4	2月18日(火)	講義「子どもの現状」 子どもたちは、今	スクールカウンセラー 中野ひろみ
5	3月10日(火) 【休止・日程等変更】	講義「子どもの現状」 思春期の性	北海道教育大学 佐藤由佳利
6	3月24日(火) 【休止・日程等変更】	ロールプレイ 2	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
7	4月7日(火) 【休止・日程等変更】	講義「子どもの現状」 生きづらさを抱える子どもたち	青葉興正保育園長 渡邊 洋平
8	4月21日(火) 【休止・日程等変更】	ロールプレイ 3	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
9	5月12日(火) 【休止・日程等変更】	ロールプレイ 4	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
10	5月26日(火) 【休止・日程等変更】	講義「子どもの現状」 少年犯罪について	道警本部少年課 少年サポートセンター
11	6月9日(火) 【休止・日程等変更】	ロールプレイ 5	チャイルドラインほっかいどう 代表理事 今川 民雄
12	6月23日(火) 【休止・日程等変更】	グループワーク	北星学園大学 栗山 隆

#### 4 受け手継続研修

期 間：2019年5月～

場 所：札幌市社会福祉総合センター等市

受け手：34名で開始 8月より15期インターン研修認定者合流

(内容)

全体研修を3回開催したほか、グループ研修は第3木曜(羽原グループ)と第3金曜(田辺グループ)、ステップアップ研修を実施した

##### 【全体研修】

日 程	内 容
2019年 5月16日(木)	年度初めにあたり、自分を見つめる
7月12日(金)	15」期認定式・交流会

12月13日（金）	受け手、支え手交流会
-----------	------------

## 【グループ研修】

## 第3木曜グループ ファシリテーター 今川代表理事

日 程	内 容
2019年 6月20日（木）	振り返り・ロールプレイ
8月15日（木）	振り返り・ロールプレイ
9月19日（木）	振り返り・ロールプレイ
10月17日（木）	振り返り・ロールプレイ
11月21日（木）	振り返り・ロールプレイ
2020年 1月10日（木）	振り返り・ロールプレイ
2月14日（木）	振り返り・ロールプレイ
3月6日（木）【中止】	振り返り・ロールプレイ
4月10日（木）【中止】	振り返り・ロールプレイ

## 第2金曜日グループ ファシリテーター 田辺常務理事

日 程	内 容
2018年 6月1日（金）	振り返り・ロールプレイ
8月10日（金）	振り返り・ロールプレイ
9月14日（金）	振り返り・ロールプレイ
10月12日（金）	振り返り・ロールプレイ
11月9日（金）	振り返り・ロールプレイ
2019年 1月11日（金）	振り返り・ロールプレイ
2月8日（金）	振り返り・ロールプレイ
3月1日（金）【中止】	振り返り・ロールプレイ
4月12日（金）【中止】	1年の振り返り

## Ⅲ 広報啓発事業

## 1 「2019年度カード等全道配布事業」実施報告

チャイルドラインの電話番号（フリーダイヤル）や開設時間などを記載したカードを、道内の小学校、中学校、高校、特別支援学校に通う子どもたちを対象に、約57万枚配布しました。

カードの作成に当たっては、(株)北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金から小学生用カード28万5000枚と中学生用カード14万枚の贈呈と、北海道新聞社からは高校生用カードと各高校への送付料の支援を受けました。また、赤い羽根共同募金から50万円の助成を得ました。

配布に当たっては、北海道教育委員会と札幌市教育委員会に事前に協力を依頼し、市町

村立校については道内 179 市町村教育委員会に送付し、道立、国立、私立校には直接送付しました。また、札幌市の児童会館（小学校併設のミニ児童会館を除く）にも配布した。

合わせて広報誌（2019 年版）を編集発行し、道内の教育委員会と各学校等に配布しました。

(配布枚数)

【小学校・中学校】（児童生徒数は、2018 年度学校基本調査による）

		小学校			中学校		
		学校数	児童数	配布枚数	学校数	生徒数	配布枚数
総 数		1,029	243,784	263,360	601	132,053	139,520
内 訳	市町村立	1,022	242,021	261,080	581	123,736	134,470
	道立				1	236	250
	国立	4	1,626	1,730	4	1,286	1,360
	私立	3	137	180	15	3,220	3,240

※1 小学校と中学校の「市町村立」には義務教育学校の学校数（6 校）と児童生徒数（434 人）、配布枚数を含む

※2 小学校と中学校の「私立」には小中一貫校の学校数（1 校）と児童生徒数（82 人）、配布数を含む

※3 中学校の「市町村立」には中高一貫校（1 校）の生徒数（473）、配布数を含む

※4 中学校の「道立」には中高一貫校の学校数（1 校）と生徒数（236）、配布数を含む

【高校・特別支援学校】（児童生徒数は、2017 年度学校基本調査による）

		高校			特別支援学校		
		学校数	生徒数	配布枚数	学校数	児童生徒数	配布枚数
総 数		285	125,746	139,225	73	5,882	7,435
内 訳	市町村立	32	12,137	13,275	5	305	440
	道立	195	84,005	89,370	66	5,499	6,865
	国立				1	59	100
	私立	50	29,604	31,320	1	19	30
	通信制	8	—	5,260	※児童生徒数には「幼児」も含めた		

※1 高校の「市町村立」には中高一貫校の生徒数（473 人）、配布数を含む

※2 高校の「道立」には中高一貫校の生徒数（226 人）、配布数を含む

※3 特別支援学校のうち「肢体不自由等」以外の児童生徒には、ルビ付きのカードを送付した（51 校、5,840 枚）

※4 盲（視覚障害支援）学校（4 校）の児童生徒（136 人）には、「点訳カード」と「墨字カード」を配布した。

※5 聾学校 7 校（知的障害との併設〈釧路鶴野支援学校を含む〉の児童生徒（211 人）に「チャット専用カード」を配布した。

【札幌市児童会館】

札幌市児童会館のうち小学校に併設しているミニ児童会館を除く 107 館に、200 枚ずつ配布した。配布に当たっては、事前に児童会館の指定管理者である公益財団法人「さっぽろ青少年女性活動協会」に協力をお願いしました。

(事業収支決算)

(収入=920,000 円)

助成金	760,000 円	赤い羽根共同募金助成金 (500,000 円)
		北海道新聞社 (260,000 円)
広報誌広告料	160,000 円	

(支出=768,725 円)

カード印刷費	228,000 円	(高校生用、特別支援学校用)
ポスター代	152,820 円	(チャイルドライン支援センターから購入)
広報誌印刷費	75,000 円	(3000 部)
通信運搬費	210,737 円	(宅急便、郵送分)
発送作業費	42,600 円	(袋詰め作業交通費とカード等運搬に伴う経費)
消耗品費	59,568 円	(封筒 (角 2)、宅配用袋、段ボール)

※ 小中生用カードは、(株)日本ハムファイターズ・ファイターズ基金から現物寄付

(取組経過)

- 3 月 28 日 赤い羽根共同募金助成申請提出 (承認)
  - 6 月 19 日 北海道日本ハムファイターズへカード配布に関する依頼
  - 6 月 22 日 広報誌編集委員会 (第 1 回)
  - 7 月 3 日 北海道新聞社へカード配布に関する助成の依頼
  - 7 月 4 日 広報誌編集委員会 (第 2 回)
  - 8 月 8 日 広報誌編集委員会 (第 3 回)
  - 9 月 2 日 広報誌編集委員会 (第 4 回)
  - 9 月 5 日 さっぽろ青少年女性活動協会に、児童会館へのカード配布とポスター掲示を依頼
  - 9 月 9 日 北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課、札幌市教育委員会児童生徒担当課に配布の依頼
  - 9 月 10 日 封筒詰め等事前作業
  - 9 月 17 日 封筒詰め等事前作業
  - 9 月 20 日 封筒詰め等事前作業
  - 9 月 24 日 全道の教育委員会 (178)、高校、特別支援学校、札幌市児童会館 (178 教委の小中高、支援学校あわせて 1,763 校と児童会館 107 館で 422,000 枚) のカード等封筒詰め作業 (札幌市立学校を除く) ※発送日は 9/25
  - 10 月 8 日 封筒詰め等事前作業
  - 10 月 10 日 札幌市立の小学校、中学校、高校、特別支援学校 (213 校、148,000 枚) のカード等封筒詰め作業 ※発送日は 10/11
  - 11 月 24 日 北海道日本ハムファイターズ・カード贈呈式 (札幌ドーム)
- (2020 年)
- 1 月 15 日 豊学校 (7 校) にチャット専用カードを配布  
(7 校 280 枚と併設の釧路鶴野支援学校高等部にも 80 枚)

## 【運営に関する報告】

### I 会議の開催状況

#### 1 総会の開催

2019 年度 (第 18 回) 通常総会

(2019 年 5 月 24 日 札幌市ボランティア活動センター研修室 A

(中央区大通西 19 丁目 札幌市社会福祉総合センター4 階)

2019 年度事業報告、同収支決算報告、同会計監査報告、2020 年度事業計画、同予算などすべての議案を可決しました。

## 2 理事会

開催状況は、以下のとおりです。

第 1 回 (2019 年 4 月 20 日)

- ・ 2019 年度 (第 18 回) 通常総会の開催について
- ・ 総会提出議案について

## 3 運営委員会

理事会業務の円滑化を図ることを目的とした運営委員会について下記のとおり開催しました。主な審議事項は以下のとおりです。

(運営委員会の開催状況)

第 1 回 (2019 年 7 月 4 日)

- ・ 第 16 期受け手養成研修の実施について
- ・ 2019 年度カード等全道配布事業の実施について
- ・ オンラインチャット・トライアルについて
- ・ 事務局員の退任に伴う募集について

第 2 回 (2019 年 8 月 8 日)

- ・ オンラインチャット・トライアルについて
- ・ 事務局員の募集について
- ・ 北海道東北エリア会議の開催について
- ・ 募金箱の設置について

第 3 回 (2019 年 9 月 5 日)

- ・ オンラインチャット事前研修の開催について
- ・ 北海道東北エリア会議の参加について

第 4 回 (2019 年 10 月 10 日)

- ・ 事務局員の退任に伴う事務局体制について

第 5 回 (2019 年 11 月 22 日)

- ・ 北海道東北エリア会議の開催について
- ・ オンラインチャット相談について

第 6 回 (2020 年 1 月 6 日)

- ・ 支援センター運営担当者会議及び臨時総会の開催について
- ・ 新事務局員の着任について

第 7 回 (2 月 13 日)

- ・ 17 期受け手養成研修の実施及び受講生募集について
- ・ 懇話会の開催のあり方について

<新型コロナウイルスの感染拡大防止に関する経過＝Eメールにて対応>

- ・ 2/23 感染拡大防止で、電話受信や研修など 3 月末まで活動停止を発議
- ・ 2/24 受け手、支え手に対し、休止に関する意見募集
- ・ 2/26 受け手、インターン、支え手に対し、「2/26 から電話・チャット、研修活動を 3 月末まで休止」を送信
- ・ 2/28 上記について支援センター、全国の実施団体にメールで送信

《北海道の対応》

- 2/26 道知事、道内各学校の一斉休校を養成
- 2/28 道知事 「北海道緊急事態宣言」
- 3/19 道知事 同宣言を解除

(2020 年度)

第 1 回 (2020 年 4 月 7 日・ZOOMにて開催)

- ・2020 年度 (第 19 回) 通常総会の開催について

臨時運営委員会 (2020 年 4 月 17 日・ZOOMにて開催)

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の取組み

(電話・チャットは 4/20～5/13 まで休止。インターン研修、継続研修は 8 月まで休止、17 期養成研修は 9 月開講に変更)

- ・2020 年度 (第 19 回) 通常総会の開催について

《国、北海道等の対応》

- 4/7 国が「緊急事態宣言」対象地域は東京都、大阪府など 7 都府県
- 4/12 北海道・札幌市「緊急共同宣言」
- 4/16 緊急事態宣言を全国に拡大。北海道など 13 都道府県を「特定警戒地域」に指定

#### 4 受け手・支え手交流会

2019 年 12 月 13 日に受け手、支え手のほか研修、企画渉外、広報部も出席し開催。

各部からの活動報告のほか、オンラインチャット、支え手研修などについて意見交換を行いました。

#### 5 チャイルドライン支援センター関係

(1) 支援センター2019 年度総会 (東京) 2019 年 6 月 8 日 (土)

参加者 長江理事

(2) 全国運営者会議

2 月 8 日 東京都

参加者 長江理事

(3) 北海道東北エリア会議

9 月 28 日 仙台市

参加者 坂本顧問

12 月 22 日 仙台市

参加者 水口常務理事

(4) 記録データ送付 電話部

#### <水口良子常務理事 (支援センター) 関係>

1. 総会 (東京) 2019 年 6 月 8 日

臨時総会 2020 年 2 月 9 日 組織プレゼン 2 月 9 日

2. 全国運営者会議 (東京) 2 月 8 日

3. 理事会 (東京) 4 月 22 日、5 月 7 日 (ネット) 6 月 8 日、11 月 9 日、1 月 11 日 (ネット) 5 回

4. 事業部会 (東京) 4 月 22 日、6 月 7 日、8 月 24 日、9 月 20 日、10 月 5 日、11 月

8日 計6回

(ネット会議) 7月29日、8月2日、9月20日、11月27日 12月12・29日、2月4日 計6回

5. オンライントライアル事業関係

①オンラインマネジメントチーム会議 (ネット会議)

10月17日、11月29日、12月19日、1月15日、3月11・30日 計6回

②オンラインPT会議 (ネット会議)

5月29日、3月20日 計2回

③オンライン研修

事前研修 7月6・7日 (東京) しながわ

9月15・16日 (北海道) ほっかいどう

10月26・27日 (東京) せたがや

2月16・17日 (盛岡) いわて

事後研修 11月17日 (北海道) ほっかいどう

④事務局チャットワーク会議 (打合せ)

4月2・10・16日、5月14・21日、6月4・18日、7月2・16日、8月7日、9月3・24日 計12回

⑤トライアル参加 (東京) 5月31日 計回

⑥オンライン全体研修開催 (東京) 10月5日

⑦オンラインネットワーク会議開催 (東京) 10月6日

6. ネット電話会議 (ネット会議) 7月16日、10月18日、11月6日、3月19日 (東京) 8月23日 合計5回

7. エリア会議 9月28日、12月22日 北海道・東北エリア会議 (盛岡)

## II 会員等の状況

2019年度中の正会員は新たに9人が新規加入しました。認定された受け手2人のほかチャイルドラインの活動支援を行いたいと申し出があった札幌トラストライオンズクラブの方6人の加入があり、同クラブでは2回の検討会議が行われています。

各会員の増減状況は、下記のとおりです。

### 【2019年度各会員数の状況】

	2019年4月初	2020年3月末	加入・退会者	増減
正会員	102人	100人	(加入) 9人 (退会) 11人	2人減
一般会員・個人	14人	16人	(加入) 2人 (退会) 0人	2人増
一般会員・団体	13団体	15団体	(加入) 2団体 (退会) 0団体	2団体増
サポート会員	53人	52人	(加入) 7人 (退会) 8人	1人減

## III その他

## 1 募金箱設置の取組み

従前より計画希望があった募金箱について、2019年2月北海道盲導犬協会へ児玉代表、早崎で「ミーナの募金」についてのお話を聞きに行き、問題点などの教えを受けた。

その後企画渉外部でも話し合いが行われ申請書類などのセットを作成。

太田理事より募金箱の寄付を、また札幌トラストライオンズクラブから募金箱事業の支援にと30万円の寄付、募金箱用シールの寄付を受けた。

札幌トラストライオンズの例会に参加、募金箱設置の協力要請した所、会員の方4名が新規に設置の協力を申し出てくれた。また当日も募金活動を行った。

今年度は新規に6件の設置場所が決まった。

現在20個の募金箱があり、新規の設置場所募集に取り組んでいる。

## 2 札幌市子どものための相談窓口連絡会議（事務局・札幌市子どもの権利救済事務局）

- ・2019年7月26日 水口事務局長が出席
- ・2020年3月9日 【新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止】

## 3 SNSを活用した相談体制の検討事業連絡会議（事務局・北海道教育委員会）

- ・2019年7月19日 水口事務局長が出席
- ・2019年12月17日 水口事務局長が出席

## 4 メディア等の取材

- ・2019年10月17日 NHK取材
- ・2019年10月21日 北海道教育大学附属札幌中学校（3年生）の取材

## 5 支援団体関係

- ・2019年6月7日 札幌東警察署管内少年補導員等連絡協議会研修会
- ・2019年6月19日 北海道日本ハムファイターズ訪問
- ・2019年6月26日 南ロータリークラブとの打ち合わせ
- ・2019年8月9日 札幌トラストライオンズクラブ例会
- ・2019年9月19日 札幌インナーホイールクラブ例会

## 6 助成金・寄付金（10万円以上）

2019年度の助成金、寄付金を受領した団体は以下の通りです。

（助成金）

- ・赤い羽根共同募金会 500,000円（カード等配布事業）
- ・北海道新聞社 260,000円（カード等配布事業）

（寄付金）

- ・札幌インナーホイールクラブ 100,000円
- ・北海道労働金庫「つなぐプロジェクト」 143,000円
- ・立正佼成会「一食地域貢献プロジェクト」 250,000円
- ・札幌トラストライオンズクラブ 300,000円
- ・札幌ライオンズクラブ 200,000円

## IV 各部の活動報告



### 研修部

- ・各研修の企画運営、講師調整連絡等、当日受付事務等の実施
- ・15期認定式、交流会（7月12日）
- ・研修部会議  
毎月開催

### 電話部

- ・電話統計データの作成
- ・休務・辞退者及び復帰者の対応
- ・受け手誓約書の取り扱い
- ・受け手担当状況の把握
- ・全体会に関すること
- ・支援センター「夏休みキャンペーン」の対応
- ・日曜日開設の対応
- ・電話部会魏開催  
5月8日（水）・6月17日（月）・7月17日（水）・8月19日（月）・9月25日（水）  
10月2日（水）・11月25日（月）・12月4日（水）・1月20日（月）・2月17日（月）  
以上10回

### 広報部

- ・一般広報紙の作成・発行（2018年度版）
- ・ホームページの更新（更新等は社福法人HOPに委託）
- ・広報部会議開催  
10月28日・11月24日（広報誌編集委員会）6月26日、7月4日

### 企画渉外部

- ・「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」  
イオン札幌苗穂店・・・47300円  
店頭活動 8月、10月、1月 3回参加 延べ 9名参加  
マックスバリューフードセンター森林公園店・・・17000
- ・募金箱設置  
新規・・・6件
- ・トラストライオンズ主催「キッズ空手道選手権大会」参加  
広報・募金活動・・・3名参加
- ・「2019年新規会員ご紹介キャンペーン」  
10月～12月 開催 新規会員の増員
- ・交流会企画  
コロナウイルスのため中止
- ・日本ハムファイターズ 寄贈ユニホームによる募金活動  
129枚 58900円
- ・企画渉外部会議  
8回開催

### 支え手会議

- ・ 支え手会議は4回行われ、主に、受け手からの支え手養成が協議された。  
6月24日（メールでの稟議）、7月18日、10月3日、10月31日

### 財務委員会

広報誌「チャイルドラインほっかいどう」に34件の広告を掲載し、20万円余の収入を得た。また立正佼成会札幌教会、札幌トラスト・ライオンズクラブ、札幌ライオンズクラブから寄付金を戴いた。各寄付の贈呈式に際しては、チャイルドラインの役割をPRした。

特に札幌トラスト・ライオンズクラブはチャイルドラインほっかいどうの苦しい財政状況を理解して多数が入会してくれたほか、同クラブ内に支援組織を設けて頂き、会員募集、募金箱の設置などに協力してもらった。一般市民への働きかけなどについても積極的な提案があり企画渉外部と共に2020年度の活動に生かす方策を検討した。

また北海道新聞社からは高校生向けのカード作成に当たって3年連続助成金を、日本ハムファイターズからは小中学生向けのカードを作ってもらい札幌ドームで行われた贈呈式では日ハムファンへの宣伝の機会を得た。

## 《資料》

### 【新型コロナ関連の電話・チャット件数】

(チャイルドライン支援センターまとめより)

#### [受信件数]

月 日	2/8～3/14	3/14～3/21	3/22～3/28	合 計
総 数	143	68	49	260

#### [年齢層]

	2.28-3.21(143件)	3.22-3.21(68件)	3.22-3.28(49件)	TOTAL(260件)
1 未就学				
2 小学校低学年	3			3
3 小学校高学年	11	3	3	17
4 中学生	26	16	4	46
5 中卒～18歳	78	38	34	150
6 大人かもしれない	3		1	4
7 不明	22	10	7	39
8 大人		1		1

#### [男女別]

1 男	73	33	32	138
2 女	66	35	17	118
3 不明	4			4

#### [主訴]

1 学校・フリースクール	20	4	5	29
2 部活	3	4		7
3 性	7	5	2	14
4 家庭	12	12	7	31

5 職場	1		1	2
6 ネットトラブル	3	2		5
7 地域	5	1	2	8
8 自分	89	40	32	161

## [関係性]

1 友人・知人	17	5	4	26
2 恋人	2	1		3
3 先輩・後輩	1			1
4 同僚	1			1
5 実父	2		2	4
6 実母	10	11	7	28
7 養父	1			1
8 養母		2	1	3
9 きょうだい	5	2	1	8
10 義理のきょうだい				
11 祖父				
12 祖母				
13 先生	3	3		6
14 顧問・指導者	1	2		3
15 近所の人			1	1
16 施設職員		1		1
17 知らない人	1	2		3
18 自分自身のこと	90	38	25	153
19 その他	6	1	8	15

## [気持ち]

1 うれしい・たのしい	6	5	1	12
2 幸せ				
3 楽しみ・期待	2			2
4 満足・充実感		2	1	3
5 怒り・いらだち	6	4	1	11
6 憂鬱	12	4	5	21
7 不安	18	14	21	53
8 イヤだ	10	5	2	17
9 疲れ	2			2
10 あきらめ	1		1	2
11 つらい・苦しい	7	3	3	13
12 悲しい	3		1	4
13 寂しい	13	5	4	22
14 人目が気になる	1		1	2
15 自分に自信がない	1	1		2
16 恐怖・怖い	9	2		11
17 くやしい	1	1		2
18 困っている	18	9	3	30

19 葛藤・迷い・戸惑い	10	3	1	14
20 傷つきたくない				
21 傷つけない				
22 不明	10	4	1	15
23 その他	10	5	3	18

## 【プレスリリース】

2020年4月15日

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

新型コロナウイルスに関する受信まとめ

## ◆子どもからの発信数・着信数

2019年	発信数(件)	着信数(件)	2020年	発信数(件)	着信数(件)
2月	33,864	14,448	2月	32,222	14,023
3月	36,636	14,978	3月	39,641	15,378
4月1～15日	15,375	6,564	4月1～15日	27,500	5239

NTTトラヒックデータより

## ◆寄せられた子どもの声（個人が特定できないよう編集しています）

- 休校でひまでしようがない。
- 突然の休校で、テストや検定がなくなった。将来のことが不安になってくる。
- 学校が好きじゃないので、休校になってちょっとほっとしている。
- 終業式で久しぶりに友達に会えてうれしかったけど、すぐに帰らないといけなくてちょっとしか話せなかった。
- 塾には通っているが、感染しないか心配。
- 学校と塾の課題が多くて大変。
- 家族でいる時間が多くなって、お母さんがよく怒るようになった
- 最近、体調が悪い。コロナかもって心配。

## ◆データで見える子どもの気持ち（2月28日～4月2日 数値は%）

